



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月14日

上場会社名 株式会社ALINKインターネット 上場取引所 東
 コード番号 7077 URL https://www.alink.ne.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 池田 洋人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼コーポレート部長 (氏名) 池田 直紀 TEL 03-5946-8779
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	475	△20.0	193	△37.5	187	△35.7	170	△11.0
2020年2月期第3四半期	594	-	310	-	291	-	191	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	81.02	77.49
2020年2月期第3四半期	97.95	-

- (注) 1. 当社は2019年2月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2020年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が当時非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	1,545	1,456	94.3
2020年2月期	1,389	1,286	92.6

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 1,456百万円 2020年2月期 1,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年2月期	-	0.00	-	-	-
2021年2月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550	△31.2	100	△73.5	90	△75.4	110	△60.9	52.32
	～620	～△22.4	～210	～△44.3	～200	～△45.4	～180	～△35.9	～85.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2021年2月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	2,102,400株	2020年2月期	2,102,400株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	68株	2020年2月期	42株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	2,102,342株	2020年2月期3Q	1,952,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「未来の予定を晴れにする」を経営理念として、一般財団法人日本気象協会との共同事業である天気予報専門メディア「tenki.jp」を運営してまいりました。

収益面に関しては、当第3四半期累計期間においては、2008年以来12年ぶりとなる台風の上陸がない期間となるなど天候が安定したことに加え、新型コロナウイルスによる大手企業を中心とした広告出稿を差し控える動きにより、売上高が影響を受ける結果となりました。一方、費用面に関しては、開発強化のための人件費増加などにより売上原価が増加したものの、販売費及び一般管理費は全般的な見直しを行い削減に努めたことにより減少いたしました。

この結果として、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高475,506千円（前年同期比20.0%減）、営業利益193,866千円（前年同期比37.5%減）、経常利益187,551千円（前年同期比35.7%減）、四半期純利益170,333千円（前年同期比11.0%減）となりました。

なお、当社はtenki.jp事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は1,545,598千円となり、前事業年度末に比べ155,640千円増加いたしました。これは主に、売上高の積み上げにより現金及び預金が290,080千円増加し、前払費用及び長期前払費用の取崩により103,361千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は88,697千円となり、前事業年度末に比べ14,622千円減少いたしました。これは主に、未払金及び未払費用が支払いにより6,578千円減少したこと並びに未払法人税等及び未払消費税等が6,634千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,456,901千円となり、前事業年度末に比べ170,263千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金が170,333千円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は94.3%（前事業年度末は92.6%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、2020年10月14日に公表いたしました業績予想から修正を行っておりません。

①環境面における影響

当第3四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの業界で需要が減退し、経済社会全体に大打撃を受ける事態となりました。当社では、当初見込んでいたより新型コロナウイルス感染症による影響が長引き、それに伴い、当社主力事業であるtenki.jpにおいてもその影響を受けることとなりました。当メディアでは積極的な回遊施策を講じて雨雲レーダーや梅雨入り、梅雨明けページにおけるユーザー最適化を図るなど、PV数では、大きな減少を食い止めています。このことから第1四半期決算発表の時点では、業績における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微と見ていましたが、新型コロナウイルス禍の影響が長引くことで、市場全体として広告主の出稿意欲が減退したことにより、2～3割の広告単価の下落が見られました。この状況は2021年2月期において、継続するものと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控える消費行動が見られましたが、tenki.jpにおいても週末の外出機会が減少したこと起因して天気情報を確認するユーザー行動が低下しています。加えてtenki.jpは、天気関連情報を取り扱う特性上、悪天候によりPV数を伸ばす傾向にあります。当期は2008年以来12年ぶりとなる台風の上陸がない期間となるなど天候が安定いたしました。このような環境下において、積極的な回遊施策を講じ、天候に頼る事なく、メディア本来の成長力を継続的に高めてまいりましたが、当第3四半期累計期間においては前述の通り例年と異なる天候状況であったため、通常悪天候が良く見られる夏季から秋季においてtenki.jpのPV数についても比較的安定的な推移となり、例年と比較して天候によるPV数の押し上げ効果が見込めないという結果となりました。

引き続き、PV数向上に努めてまいりますが、広告単価の回復状況は経済環境全体に起因しており、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなるため、依然として見通しが不透明となっています。

②気象庁ホームページにおけるウェブ広告運用業務等委託事業に関する影響

当社は、気象庁ホームページにおけるウェブ広告運用業務等委託に関する入札において、2020年8月5日に落札し、現在業務委託を受けています。当事業は、期首に業績予想を発表した時点では計画に織り込んでおりません。

また、気象庁は気象庁ホームページにおいて、広告掲載を実施することは初めての試みであるため、慎重な協議を重ねながら事業を進めています。2020年9月15日に運用型広告を気象庁ホームページにおいて開始しました。しかしながら気象庁からの要請により、2020年9月16日より一時的に広告を停止しておりましたが、2021年1月12日に広告掲載の方法を変更するなどの対策を行ったうえで再開しました。しかしながら、いまだ当事業における今後の展開については、気象庁との協議も継続し、かつコロナ禍の影響も受けていることから見通しが不透明となっています。

まず、①の環境面における影響については、今後の新型コロナウイルス感染症拡大における経済の回復状況や天候の状況により業績が変動することが考えられます。状況が好転する場合としては、新型コロナウイルス感染症の影響が一服し、レジャー関連業界の回復を見込める状況、および台風や大雨などの悪天候がある程度発生した状況を想定しています。また、現状の新型コロナウイルス感染症の影響が続き、かつ、天候が安定した場合も想定して業績予想を算出しています。

②の気象庁ホームページのウェブ広告運用業務等委託事業においては、今後の事業展開や気象庁との協議結果により大きく変動する可能性を考慮して業績予想を算出しています。

以上の理由より特定値ではなく引き続きレンジ形式の予想としております。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,316	1,151,396
売掛金	167,187	172,376
仕掛品	4,320	-
前払費用	49,453	18,006
その他	28,397	3,119
流動資産合計	1,110,674	1,344,899
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置	40,000	40,000
減価償却累計額	△20,644	△22,357
機械及び装置 (純額)	19,355	17,642
工具、器具及び備品	516	1,149
減価償却累計額	△23	△369
工具、器具及び備品 (純額)	492	780
有形固定資産合計	19,848	18,422
投資その他の資産		
投資有価証券	2,501	2,501
長期前払費用	205,402	133,487
投資不動産	71,868	71,868
減価償却累計額	△22,139	△27,382
投資不動産 (純額)	49,729	44,485
その他	1,802	1,802
投資その他の資産合計	259,434	182,276
固定資産合計	279,283	200,699
資産合計	1,389,958	1,545,598

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,324	3,658
未払金	12,277	7,346
未払費用	16,193	14,545
未払法人税等	42,201	39,412
未払消費税等	15,910	12,064
預り金	8,236	9,686
流動負債合計	98,143	86,715
固定負債		
繰延税金負債	5,176	1,982
固定負債合計	5,176	1,982
負債合計	103,320	88,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	135,345	135,345
資本剰余金	170,561	170,561
利益剰余金	980,878	1,151,212
自己株式	△147	△217
株主資本合計	1,286,638	1,456,901
純資産合計	1,286,638	1,456,901
負債純資産合計	1,389,958	1,545,598

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	594,043	475,506
売上原価	74,369	105,934
売上総利益	519,673	369,571
販売費及び一般管理費	209,326	175,705
営業利益	310,347	193,866
営業外収益		
不動産賃貸料	2,277	262
その他	41	22
営業外収益合計	2,318	285
営業外費用		
不動産賃貸費用	5,828	5,718
上場関連費用	15,197	-
その他	179	880
営業外費用合計	21,204	6,599
経常利益	291,460	187,551
特別利益		
保険解約返戻金	-	58,735
特別利益合計	-	58,735
税引前四半期純利益	291,460	246,286
法人税、住民税及び事業税	95,538	79,147
法人税等調整額	4,681	△3,194
法人税等合計	100,220	75,953
四半期純利益	191,240	170,333

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、tenki.jp事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。